

## 韓国・韓明淑国務総理、鳩山由紀夫民主党幹事長との会談内容

### 同席者

韓国側：金成珍・国務総理室秘書室長

チェ・ビョンファン同室広報秘書官

李京秀・外交通商部亜太局審議官

金チャンボン国務総理室外交安保審議官他

日本側：尾立源幸参議院議員

寺田 学衆議院議員

芳賀大輔・鳩山由紀夫秘書

日本大使館・大島大使他

### ( 1 ) 韓明淑総理より、次のとおり述べた。

韓日関係が大変難しい中での貴幹事長の訪韓は有意義であり、両国関係の改善の機会になることを願っている。また、貴幹事長が、自分（韓総理）の就任を祝うことも兼ねて今回訪韓されたとの韓国の新聞社（東亞日報）とのインタビュー記事も読んだ。更に、小沢代表並びに貴幹事長からは総理就任祝いの書簡ももらい、感謝申し上げる。

### ( 2 ) 鳩山幹事長より、次のとおり述べた。

韓明淑総理就任のニュースを聞いた時、本当に嬉しかった。数ヶ月前、貴総理が当方の事務所を訪問され、在サハリン「韓国人」問題の解決のための国際シンポジウムへの出席要請をされたが、結局その時は衆議院の突然の解散、それに続く総選挙での民主党の敗北などがあり、実現しなかった。（同シンポジウムも開催されなかった。）ただ、その後、日本ではサハリン在留韓国人の三世が日本の大学に留学するための支援が今年度予算で確保された。今後とも、同問題解決のため努力していきたい。

（これに対し、韓総理より、自分が訪日した際、貴幹事長が、同問題解決のために心を砕き、積極的に協力する姿勢を見せて頂いたことに感謝するとともに今後の協力を要請する旨述べた。）

日韓関係が厳しい時であるからこそ、今後どのようにしていけば良いかを考えるためと、貴総理の就任を祝う気持ちで訪韓した。現在は、小泉総理のアジア外交がうまくいっていないために日韓関係が厳しい状況である。民主党の小沢代表は、小泉総理が靖国神社に参拝するのは誤りであるとはっきり言っている。A級戦犯を分祀した上で堂々と参拝すべきということである。小泉総理の過去の歴史に対する認識のため、日本全体が不利益を被っていることが残念であり、現在の韓国からの強い反発の原因となっていると考える。

日本と韓国には、お互いにそれぞれの立場や考え方の違いがあるが、今回の訪韓で韓

国の考え方を学ぶことができた。長い時間をかけ、この問題を歴史的にしっかり研究して解決していかなければならない。昨日、鄭東泳ウリ党議長とお会いしたが、同議長は、このように日韓間での問題が繰り返されると、日本の韓国に対する第二の侵略であると韓国側は受け止めるとの発言もされていた。我々としては、とても考えられないことであるが、そのような憂慮を抱かせているということが日本外交の失敗であると思う。

(3) これに対し、韓総理より、次のとおり述べた。

韓日関係は、両国のみならず、東北アジアにおける平和維持及び繁栄のためにも重要である。韓国は、日本との関係でいえば大きな被害者であるが、そのような状況を克服し、現在は経済的にも世界でも10位となっている。日本とは、未来志向的かつ賢明な方法で、難しい問題を克服するため努力していきたい。

98年には、当時の金大中大統領が訪日した際、21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ宣言が締結されるなど両国に共通の認識が見られた。昨年は、韓国の解放60周年、日韓国交正常化40周年、乙巳条約(第二次日韓協約)100周年という大変意義深い年であり、日韓友情年の下、両国間では、経済的・社会的に交流が進み、中でも人的交流は420万人と史上最大に達した。また、韓国人へのビザ免除、北関大捷碑の返還、金浦・羽田間のシャトル便が4便から8便への増便など、両国民の間では友好関係が増大している。しかし、政治的には、教科書問題、靖国参拝問題、独島(ママ)問題などが発生し、関係発展を妨げている。

日韓関係が未来志向的になるためには、これら政治的な問題が解決されなければならない。先般の盧武鉉(ノ・ムヒョン)大統領の特別談話でも、独島問題は領土問題のみならず、歴史認識の問題であり、韓国にとって大事な主権問題であると言われた。韓日関係の回復のため、日本の政治指導者の正しい歴史認識及びそれに基づく実践への努力が必要であり、それによって信頼関係が構築されると考える。

韓国の要請にもかかわらず、小泉総理が靖国参拝を強行されるのは韓国として残念であり、失望感も抱かせる。貴幹事長が第三の追悼施設建設に向け指導的役割を果たされていることに感謝したい。

(4) これに対し、鳩山幹事長より、次のとおり述べた。

貴総理の貴重な発言に留意したい。竹島問題について鄭議長は、日本では1億3千万人が同島のために戦争することは考えてもいないであろうが、韓国は、北朝鮮も含め、7千万人がどんな犠牲を払っても守らなければならないとの考えである旨述べておられた。我々はこのような認識の違いを学ばなければいけないと感じた。日本人のうち、竹島の位置もわからない人もかなり多いのが実情である。

あらゆる領土問題は、歴史に対する認識の違いから生じている面がある。もっと歴史の事実を正しく理解する努力をすべきと思う。国立追悼施設については現在超党派で努力しているところである。今年の夏ぐらいまでには方向性を出し、施設建設に向け前向きな結論を出したいと考えている。ただ、同施設が必要だと考えている懸念として、韓

国や中国から建設すべきと言われて建設するという形になることは、国内のナショナリズムの強い反発を招く恐れがあり憂慮している。本件は、日本自らが推進すべき問題であり、韓国も静かに見守って欲しいと考える。

(5) これに対し、韓総理より、次のとおり述べた。

趣旨は理解した。日本が国内的にうまく推進されることを願う。

在サハリン「韓国人」問題について、韓国政府は、サハリンに合同調査団を送ったが、その結果を基に今後適切な時期に両政府の間で交渉が行われると承知している。同問題は、日本の徴用により現地に残らざるを得なかったという事情を勘案して欲しい。現在は、高齢化や病気等の問題がある。早く韓国に戻れるよう人道的な観点から支援して頂きたい。

また、従軍慰安婦に対する韓国の立場ははっきりしている。この問題に関し、民主党が「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」を推進されていることに感謝し、今後も同問題へ高い関心を持って頂きたい。

(6) これに対し、鳩山幹事長より、次のとおり述べた。

同法案とともに、自分が発議したい法案の内容は、国会図書館に恒久平和局を作り、過去の事実に関する情報を収集し、日本が歴史に対する自らの考えや責任を研究させる、というものである。今国会中にも発議する予定である。

在サハリン「韓国人」問題に関連して、自分の祖父である鳩山一郎（元総理）は、ちょうど今から50年前にモスクワで日ソ共同宣言を締結し、その結果シベリアから日本人を返還させることができたが、韓国人については帰せなかった。自分は、祖父がやり残した仕事のひとつと考え、この問題に責任感を以て取り組んでいく所存である。

貴総理のご活躍を期待するとともに、日韓関係の発展に努力して頂きたい。民主党としても、アジア重視の外交をやっていくつもりである。

(7) これに対し、韓総理より、次のとおり述べた。

民主党としての建設的な考えに感謝したい。韓日は、関係が悪くなったからと言って引越はできない。良い関係を築き、東北アジアの平和の維持と発展のために寄与すべき関係である。政治家によって緊張がもたらされる場合、外交的な努力や、他の政治家が役割を果たしたりすることが重要である。

(8) 最後に、鳩山幹事長より、拉致問題に関し、最近横田めぐみさんの母上が米国に行き協力を求めたが、韓国でも、金英男（キム・ヨンナム）氏の母上や親戚の方達と懇談をしたいとの考えをもっておられる。脱北者や拉致問題などは重大な人権問題であり、日韓間での協力を期待したい旨述べたのに対し、韓総理より、韓国でも現在DNA鑑定を行っているところであり、先ず鑑定の結果を待ちたい、人道問題として韓国としても力を尽くすつもりであり、最大限の関心を持っている、また、日朝間での対話が促進されることを願っている旨述べた。